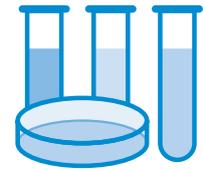


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

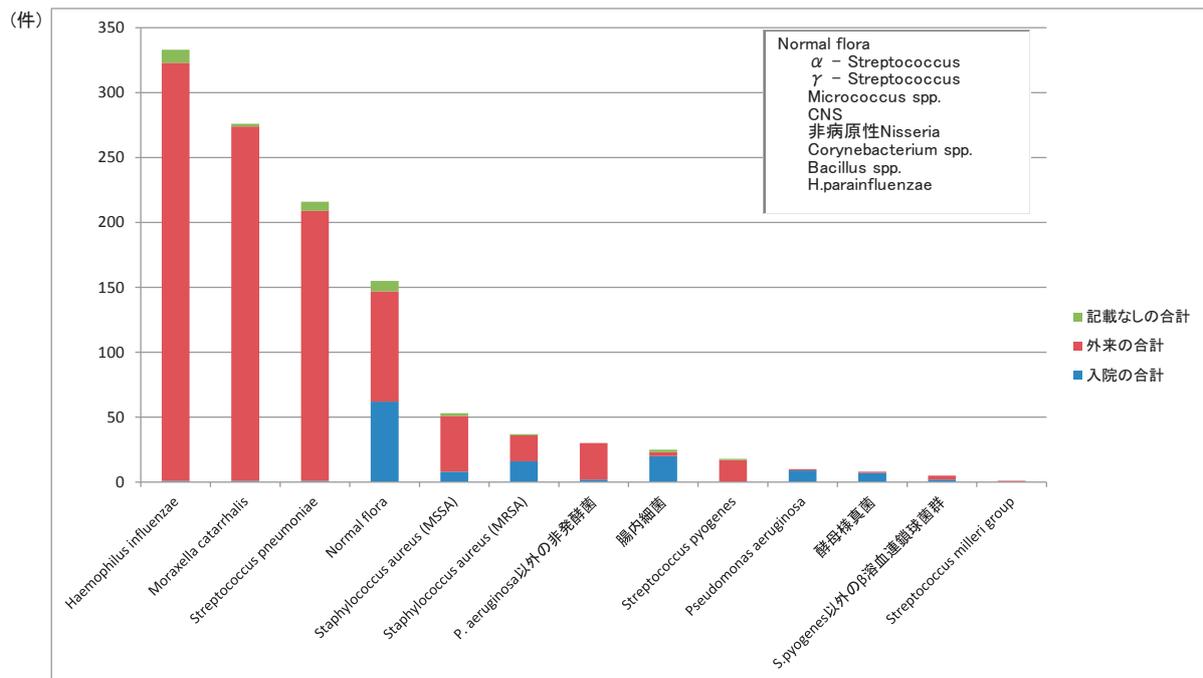


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況、細菌薬剤感受性情報及び薬剤耐性菌分離状況を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況と、*Haemophilus influenzae* の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2019年04月



Haemophilus influenzae は通性嫌気性のグラム陰性小短桿菌で、市中肺炎、急性中耳炎、副鼻腔炎、化膿性髄膜炎の起炎菌のひとつです。

莢膜の有無により、莢膜型と無莢膜型に分類され、莢膜型はa～fの6つの血清型に分けられます。無莢膜型は慢性下気道感染症の急性増悪期、中耳炎や副鼻腔炎の原因菌とされています。

【細菌薬剤感受性情報】 2019年 4月分

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	ABPC	ビクシリン	36	28	36
	AMPC	サワシリン	33	24	43
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CTRX	ロセフィン	100	0	0
	CAZ	モダシム	100	0	0
	CZOP	ファーストシム	25	0	75
	CFPM	マキシピーム	100	0	0
	FMOX	フルマリム	25	0	75
	セフェム系経口薬	CPDX	パナム	71	0
	CFDN	セフゾン	62	0	38
	CFPN	フロモックス	77	0	23
	CDTR	メリアクト	100	0	0
	CFTM	トミロン	99	0	1
カルバペネム系	IPM	チエナム	100	0	0
	MEPM	メロペン	100	0	0
	DRPM	フィニバックス	85	0	15
	TBPM	オラベネム	99	0	1
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	61	0	39
	ACV	オーグメンチン	80	0	20
	STC	ユナシム	17	25	58
マクロライド系	CAM	クラリス	93	6	1
	AZM	ジスロマック	100	0	0
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシム	100	0	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	99	0	1
	TFLX	オゼックス	97	2	1
	GRNX	ジェニナック	92	0	8
	ST	バクタ	100	0	0

Haemophilus influenzae は一般的にアンピシリン(ABPC)、第三世代セファロスポリン系薬、ニューキノロン系薬に感性です。当検査センターでは年間を通して、第三世代セファロスポリン系薬とニューキノロン系薬は良好な感受性率となっていますが、アンピシリン(ABPC) は耐性株が増加しています。アンピシリン(ABPC) 耐性菌はBLNAR、BLPAR、BLPACRに分けられ、呼吸器系材料から多く検出されています。

【薬剤耐性菌分離状況】 2019年 4月分

耐性菌名	呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
	耐性率 (%)	件数	耐性率 (%)	件数						
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)	16%	59	0%	0	0%	0	0%	0	3%	1
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)	10%	37	0%	0	20%	1	0%	0	17%	6
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラブラン酸耐性 H.influenzae)	2%	9	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。

<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係